

令和3年度中長期経営プラン2016の進行管理結果について

山武水道では、中長期的な視点に立った新たな計画として、平成28年3月に「山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016」を策定し、基本理念として掲げた「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」の実現を目指して、経営プランの推進に取り組んでいます。また、令和元年度には平成28年度から平成30年度までの検証結果を踏まえた経営プランの見直しを行い、さらに令和2年度には大規模地震等の被害を最小限に抑えるため配水管の耐震化計画全体を見直したことから、経営プランの該当箇所の修正を行いました。

この度、令和3年度の取組について、実施状況を分析して要因や課題を把握する評価を行いました。

今後、この結果に基づいて、必要な改善を行い中長期経営プランの着実な推進に取り組んでまいります。

1 中長期経営プラン2016について

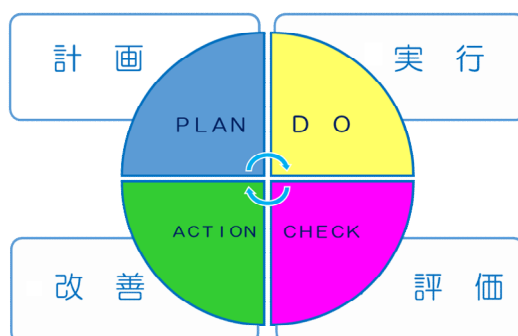
中長期経営プランは、企業団の水道事業全般に関する最上位の基本的かつ総合的な計画として、第3章「現状と課題」を踏まえ、第4章「基本理念と目標」において、「次世代へつなぐ強靱で安心な水道」を事業運営の基本理念として掲げ、この基本理念を実現するための事業展開の方向性を「水道水の安全の確保【安全】」「確実な給水の確保【強靱】」「供給体制の持続性の確保【持続】」という3つの計画目標として具体的に設定しています。

この3つの計画目標を達成するため、第5章「今後の10年間の取組姿勢」において、平成28年度から令和7年度までの10年間で重点的に取り組む施策・取組内容を体系的に整理しました。（別添「計画の体系及び評価結果」参照）

また、体系化とともに、「施策等の指標」「年次計画（活動目標）」により数値目標を設定し、目指すべき目標を明確にしています。

2 進行管理の方法

中長期経営プランは、PDCAマネジメントサイクルにより進行管理を行います。評価により明らかになった成果と課題を中長期経営プランの着実な推進に活用します。

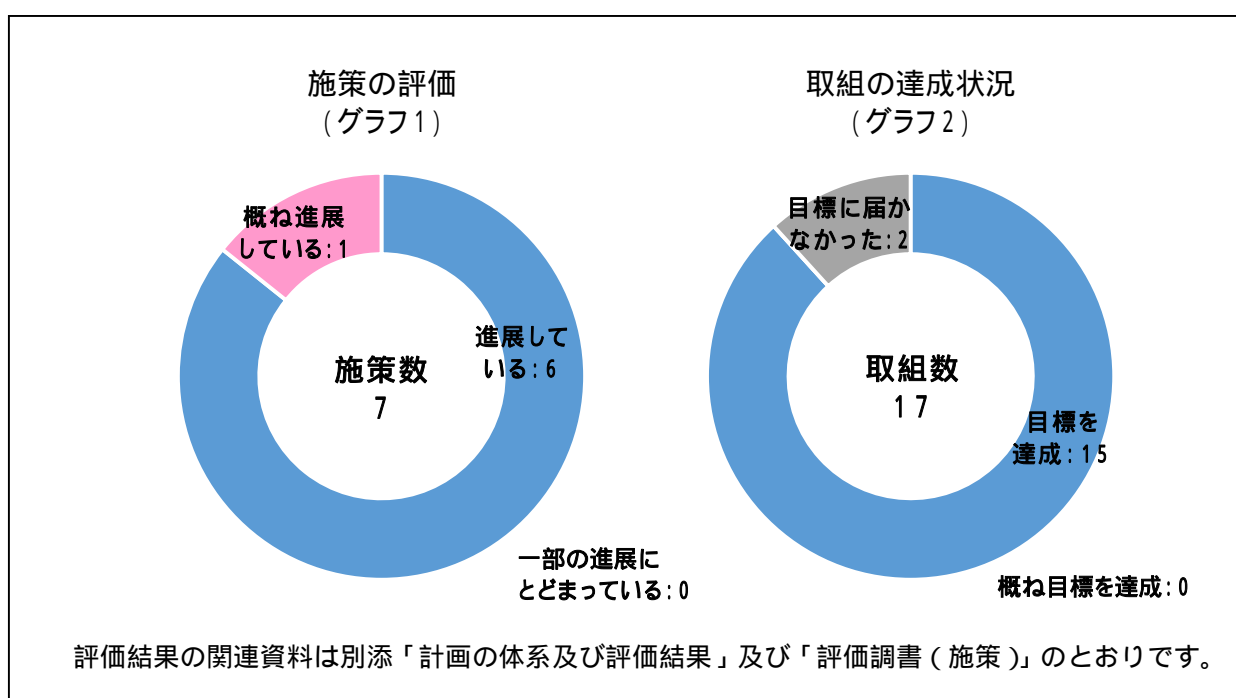


3 令和3年度に実施した施策の評価

中長期経営プランに掲げた3つの計画目標を達成するための各施策について、主な取組の実施状況により「進展している」「概ね進展している」「一部の進展にとどまっている」の3つの区分に整理し、その進捗状況を評価しました。

計画目標に掲げた7つの施策について、「進展している」又は「概ね進展している」と評価しました。(グラフ1)

施策を達成する具体的な手段である17の取組について、「目標を達成」、「目標に届かなかった」と評価しました。(グラフ2)



4 令和3年度の実施状況

計画目標1 水道水の安全の確保【安全】

【水質管理の強化】

水質検査計画に基づき、配水施設から給水栓(蛇口)に至るまでの工程において水質検査を行ったところ、水質基準を全て満たしており、その結果を公表しました。

水安全計画に基づき、危害発生の予防に努めるなど徹底した水質管理を実施することで安全な水道水を供給することができました。



計画目標 2 確実な給水の確保【強靱】

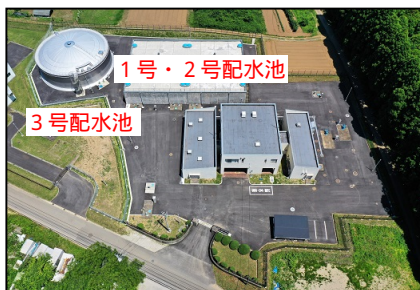
【水道施設の計画的更新と維持管理】

〔松尾配水場〕震災時においても北部地域（山武市・横芝光町）の安定した給水を確保するため、令和元年度から2年度において松尾配水場に3号配水池を新たに築造し場内連絡管を更新・整備することで耐震化が完成しました。令和3年度に場内整備を実施し本取組が完了しました。

〔成東配水場〕効率的な水運用を目指し取り組んできた水道施設の統廃合については、松尾配水場3号配水池築造及び横6号幹線を整備したことにより、計画通り成東配水場を令和4年3月31日に廃止し本取組が完了しました。基幹管路耐震化事業については、約2.7km施工し、現在までに約13.8kmの配水管を耐震化しました。

重要給水施設配水管耐震化事業については、約1.8km施工し、約1.2kmが繰越となりましたが、重要給水対象施設としては1箇所の配水管を耐震化しまして、現在までに合計6箇所の約7.6kmの配水管を耐震化しました。

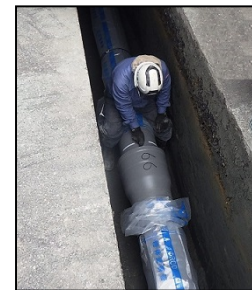
配水管漏水調査については、東金市275kmを実施し、漏水を5箇所発見・修理しました。



松尾配水場の耐震化等の取組が完了しました。



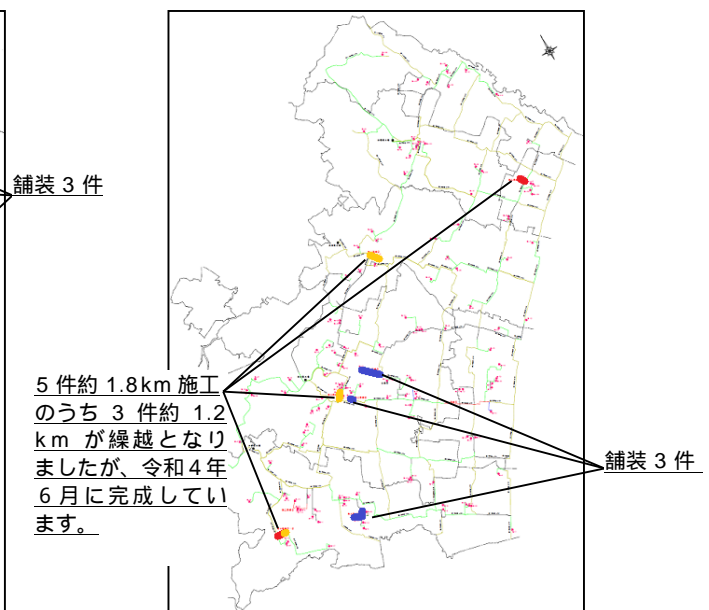
成東配水場を廃止しました。
(令和4年3月31日)



基幹管路耐震化工事の様子



基幹管路耐震化事業
(交付対象事業:補助額約1億5千万円)



重要給水施設配水管耐震化事業
(交付対象事業:補助額約8千万円 繰越約5千万円)

【総合的な危機管理】

総合的な災害対策訓練として非常用電源確保や応急給水訓練等を実施しました。応急給水に必要な新たな給水車（2 m³）を1台更新しました。

松尾配水場の非常用自家発電設備に地下燃料タンクを増設しました。これにより、全ての配水場で72時間の稼働が可能となり、長時間の停電にも耐え得る災害に強い施設が完成し、本取組は完了しました。



災害対策訓練
(庁舎の非常用電源設置)



給水車（2 m³）更新



非常用自家発電設備
(全ての配水場72時間稼働可能)

計画目標3 供給体制の持続性の確保【持続】

【お客様サービスの充実】

新たな支払い方法の拡充を目指し、スマートフォン決済の導入に向けて検討しています。

水道料金徴収業務受託者と定期的にミーティングや事務処理状況の検査を実施し、業務の適切な履行の確認及び丁寧なお客様対応ができるよう、指導を行いました。

マスコットキャラクター「さんすいちゃん」の商標登録を出願しました。



スマートフォン決済



お客様センター



さんすいちゃん

【経営の健全化及び効率化】

九十九里地域末端給水事業体の統合・広域化の方向性や考え方を関係13市町村と協議・調整し「取組方針」を取り纏め検討を開始したところです。

【環境に配慮した事業運営の推進】

大網配水場の配水ポンプを高効率化し省エネ化を図りました。

発注した全ての工事で浅層埋設工法を採用しCO₂削減に努めました。

老朽化による事務局庁舎の電気設備の更新に伴い、省エネ性能の高いLED照明の導入を計画的に進めることとしました。

5 進行管理に関する評価

中長期経営プランの施策を推進するために企業団内に「中長期経営プラン推進委員会」を設置し、進行管理に関する内部評価を実施しています。

また、内部評価の客観性を確保するため「山武郡市広域水道企業団水道事業運営委員会(知識経験を有する委員で構成)」に諮問し、評価結果を取り纏めています。

山武郡市広域水道企業団中長期経営プラン2016
令和3年度 計画の体系及び評価結果

計画目標 3	施策 7	取組内容 17	達成状況	施策の成果
1 水道水の安全の確保【安全】	(1) 水質管理の強化	水質管理の強化	a	B
		直結給水方式への推進	a	
		給水装置に対する安全性の確保	c	
2 確実な給水の確保【強靱】	(2) 水道施設の計画的更新と維持管理	効率的な水運用のための水道施設の整備	a	A
		配水施設の計画的更新	a	
		管路施設の計画的更新	a	
		管路の維持管理及び漏水防止対策	c	
	(3) 総合的な危機管理	災害対策計画と活動マニュアルの運用管理	a	A
		漏水事故及び災害時における復旧体制の強化及び関係者間の連携	a	
3 供給体制の持続性の確保【持続】	(4) お客様サービスの充実	お客様サービスの向上	a	A
	(5) 経営の健全化及び効率化	将来需要の動向に即した水道料金制度の検討	a	A
		経営基盤の強化	a	
		組織体制の強化	a	
		統合・広域化の検討	a	
		運営委員会の有効活用	a	
	(6) 活力ある人材・組織づくり	人材育成と技術の継承	a	A
(7) 環境に配慮した事業運営の推進	省エネルギーと環境保全対策	a	A	

達成状況

- a 目標を達成
- b 概ね目標を達成
- c 目標に届かなかった

施策の成果

- A 進展している
- B 概ね進展している
- C 一部の進展にとどまっている